

2017年度日本リトルシニア 第3回関西連盟中国支部新人戦大会

大会要綱

主 催 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛 株式会社ハーカスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗）
期 日 平成29年9月9日（土）～平成29年9月10日（日）
場 所 呉市総合スポーツセンター野球場、呉中央シニア専用球場、広島南シニア専用球場、呉昭和シニア専用球場（全4球場）
競 技 方 法 関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用）
予選：リーグ戦（勝点制）、準決・決勝：トーナメント戦（三位決定戦は行わない）
開 会 式 ありません
閉 会 式 期：平成29年9月10日（日）：決勝戦終了後（15:30予定）
於：呉中央シニア専用球場
参加チーム 日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ：12チーム（1チーム合同）

抽 選 会	平成29年8月26日（土）：津田恒美メモリアルスタジアム（卒団大会受付時）
参 加 費	大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込）
試 合 球	メーカー指定なし（但し、シニアリーグ公認球に限る）試合ごとに4球
審 判 員	● 全試合：父兄審判員4名（各チームから2名ずつ派遣） ※但し、父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。
審 判 弁 当	ありません（各チームで用意）
参 加 要 件	<ol style="list-style-type: none">本大会に出場できる選手は中学二年生までとし、関西連盟が発行する選手・指導者カード（仮カード含む）の所持者のみ、ベンチ入りを許可する。 但し、特段の事情等により、登録カードの発行が間に合わない選手については、大会本部と相手チームの了承を得て、ベンチ入りすることができる。登録カードを所持しない選手は、必ず各チームのスポーツ保険に加入すること。ベンチ入りメンバーは25名までとし、試合出場は5名以上の一年生が常時出場していなければならない。一年生が5名に満たないチームは合併チームで出場することを許可する。バッテリーは、常時一年生でなければならない。登録カードのない選手ならびに合併チームの選手は異なるユニフォームでの参加を許可し、背番号が同じであっても出場可能とする。専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。本大会に参加するチームは、全ての試合において大会弁当（@600円）を注文すること。



競技要項（大会特別規定）



- ベンチは若番が一塁側とし、ロージン・ボールボーイは支部取り決めどおりとする。
- 予選はリーグ戦を行い、勝ち点が上位の4チームが決勝トーナメント戦に進出する。
なお、勝ち点については「コールド4点、完封4点、勝3点、分1点、負0点」とし、**勝ち点が同点の場合は「小失点>得失点>多得点>抽選**の順で決する。
決勝トーナメント戦は、準決勝・決勝のみとし、三位決定戦は行わない。
- 予選リーグ戦の父兄審判員は自チームの試合を担当し、若番が球審と二塁を担当する。
なお、二試合目からは、一試合目と逆の審判を担当する。
- 各球場のグランドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 試合は2時間または7回戦とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超ても試合を行う）なお、試合成立後に同点の場合は延長戦及びタイブレイクは行わず、最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝負を決する。（但し、予選リーグ戦は同点抽選を行わない）
- 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。（決勝戦も含む全試合）
- メンバー交換は前試合3回終了後、大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・大会登録選手全員が集合し、選手カード・所定のメンバー表（4部）・試合球（4球）・投球確認シートを提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、メンバー表と選手カードの照合を実施し、先攻後攻を決定する。
- 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。
なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（各補助員は登録選手に限る）
- 外野フィールド内でのトスバッティングやノック及びスパイクシューズを履いてのキャッチボールを禁止する。（アップシューズ着用でのキャッチボールは可）
- 次試合チームの先発バッテリー1組に限り、4回終了後、ブルペンに入って投球練習を行うことができる。（但し、ブルペン入場は試合を妨げないよう攻守交代中に入場すること）
- ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）

その他の注意事項

- 審判員は第1試合の試合開始40分前には待機し、第2試合以降は、前試合3回終了前までに必ず審判控室にて待機する。（審判服は支部指定）※審判カードを持参。
- 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前に必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 審判へのお茶出し及び試合中におけるメンバー交換のアナウンスは行わない。
- 各会場の球場担当は、一塁側が本部当番、審判お茶出し、BSO、ボールボーイの空き箱用意。
三塁側が試合速報入力、スコアボード操作（電光掲示板含む）を担当する。
- 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 当日、事務局長が欠席の際は「事務局長代行届」を各会場の本部に提出すること。
- 各チームの応援団はメガホンを叩いての応援を禁止する。（鳴り物応援禁止）